

サティと映画影絵芝居から前衛映画の光まで

青柳いづみこ

サティ没後100周年記念レクチャーコンサート

Prochainement



Izumiko Aoyagi

Satie et le cinema

du théâtre d'ombres à la lumière du cinéma d'avant-garde

主催:大阪大学人文学研究科芸術学専攻アート・メディア論コース／大阪大学文学部フランス文学研究室

大阪大学人文学研究科言語文化学専攻フランス語部会／大阪大学外国語学部フランス語専攻

後援:OCCAワンコイン市民コンサート

11.12

水曜日

開場 15時

2025

15時30分-17時30分

©Ahira MUTO

大阪大学会館

Osaka University Hall

大阪府豊中市待兼山町1-13

大阪大学豊中キャンパス内

事前登録が必要です 締切 11月11日(月)

お問合せ: 東志保準教授
azuma.shiho.hmt@osaka-u.ac.jp

青柳いづみこレクチャーコンサート



申込フォーム <https://x.gd/zcMDe>

11月12日(水) 15時30分 於:大阪大学会館

1887年、モンマルトルの文芸カフェ「黒猫」で影絵芝居に接したサティ。ピアニストとして数多くの作品に携わり、「オーベルジュ・デュ・クルー」でも、ミゲル・ユトリロの影絵芝居のために『ユスビュ』を作曲した。生涯の最後に自ら出演したルネ・クレール『幕間』まで、彼の道ゆきを通して映画の起源を辿る。

青柳いづみこ

上演映画と演奏曲

第一部 映画の前駆体としての影絵からシネマトグラフの発明まで
「星へのあゆみ」(1890)モンマルトル「黒猫」での影絵芝居の再現
リュミエールのシネマトグラフ(1895-) 演奏「ユスビュ」サティ☆

☆青柳いづみこ

★藤井快哉

第二部 映画とダダイズム

マン・レイ「理性への回帰」(1923) ピアノ即興演奏☆

マルセル・デュシャン「アネミック・シネマ」Anémic Cinéma (1926) 演奏「メドゥーサの罌」サティ☆

ルネ・クレール「幕間」Ent'acte(1924) 演奏「Cinema」サティ☆★

青柳いづみこ (ピアニスト・文筆家)

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業、東京藝術大学大学院博士課程修了。『ドビュッシーと世紀末の美学』で学術博士号。平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を兼ね、著作は35点、CDは26枚。21枚のCDが『レコード芸術』特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝「翼の生えた指」で吉田秀和賞、祖父青柳瑞穂の評伝『真贋の間に』で日本エッセイストクラブ賞、ミステリー・エッセイ『6本指の ゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞。近著に『パリの音楽サロン ベル・エポックから狂乱の時代まで』(岩波新書)、『ドビュッシーとサティ どちらが先駆者か』(春秋社)、CDに高橋悠治とのコラボレーションで『逃げ出させる歌 独奏と連弾によるサティ撰集』(ALM)。日本演奏連盟、日本ショパン協会理事、大阪音楽大学名誉教授。兵庫県養父市芸術監督。青柳いづみこ オフィシャルHP:<https://ondine-i.net>

藤井快哉 (ピアニスト)

大阪音楽大学卒業、同大学院修了。インディアナ大学音楽学部パフォーマーディプロマ課程を経て、アーティストディプロマ課程修了。国内外のコンクールに入賞。帰国後は、ソリストとして日本演奏連盟主催演連コンサート・ピアノ・リサイタル(大阪)、大阪音楽大学主催ザ・カレッジ・オペラハウス推薦コンサート等に出演。リサイタルの共演者・室内楽奏者としても、フェニックスエヴォリューションシリーズ、NHK-FM「名曲リサイタル」、霧島国際音楽祭等に出演。(公財)兵庫県芸術文化協会より平成16年度坂井時忠音楽賞を受賞。(公財)サントリー芸術財団より井上麻子×藤井快哉DUOとして第7回(2007年度)佐治敬三賞受賞。2010年度神戸灘ライオンズクラブ音楽賞を受賞。平成22年度兵庫県芸術奨励賞受賞。大阪音楽大学教授。

東志保

<解説者>

大阪大学大学院人文学研究科准教授。専門は、映画研究・比較文化論。主にフランスをフィールドにドキュメンタリー映画の研究に取り組んでいる。共編著に『クリス・マルケル 遊動と闘争のシネアスト』(森活社、2014年)、共著にCinémAction n°165-Chris Marker: pinonnier et novateur (Editions Charles Corlet, 2017)、『思想としてのアナキズム』(以文社、2024年)がある。

佐藤馨

大阪大学大学院文学研究科博士前期課程(音楽学)を修了。現在、同研究科博士後期課程(音楽学)に在籍。研究対象は、20世紀前半のフランスで活躍した作曲家シャルル・ケクラン(1867-1950)と映画の関係性、および同時代のフランス映画と音楽。論文「作曲家シャルル・ケクランの映画音楽論」(『フィロカリア』41号、2024年)など。

後援

OCCAワンコイン市民コンサート OCCA One-Coin Concert for ALL



大阪大学会館ホールで毎月一回一流の演奏家によるコンサートを開催しています。学生500円 一般1,000円

シーズン2025-2026 公演情報

2025

11月9日 櫃本瑠音 無伴奏チェロリサイタル
12月14日 トリオ・トリプティック 賛川二葉・佐藤一紀・吉田円香 シューベルト ブラームスコルンゴルト:ピアノ三重奏曲

2026

1月11日 養田真理、三橋桜子 バッハ:ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ全六曲演奏会(最終回)
2月22日 今峰由香ラヴェル全曲演奏リサイタル 第二回
3月22日 佐藤卓史ピアノリサイタル「未完シューベルト作品:補筆のアルゴリズム」
4月19日 堀江真理子ピアノソロリサイタル フォーレ
5月17日 高橋アキ×青柳いづみこ!!
6月14日 スタンフォード・チャン「もう一つの作曲技法」

7月12日 チョ・ジンジュ&橋本京子 デュオ・リサイタル
韓国出身のスーパースターが日本人巨匠と1920年でタッグマッチ!
8月23日 ニコライ・サトフスキーピアノリサイタル "オール・ロシア作品" 祖国ロシアのピアノイズム
9月20日 石上真由子×江崎萌子 ヴァイオリン・ピアノデュオリサイタル「ジネット・ヌヴェー讚」
10月18日 ラヴェル歌曲 古田昌子(メゾソプラノ)・伊藤順一(ピアノ)・森本英希(フルート)ほか「シェラザード」「マラルメの三つの詩」
字幕付き公演 ラヴェルの不思議な声
11月15日 ピアノスカラーシップ大阪・沼沢淑音リサイタル
12月13日 Quartet Lianリアン弦楽四重奏団<声と仮面——ヤーナーチェクとストラヴィンスキー、20世紀音楽の二つの儀式>